

新肥料成分

抗酸化アミノ酸「アセチルシス테인」配合

カクサンアミノ



家庭園芸用複合肥料（生第101192号）

規格 1ℓ、10kg（約8.5ℓ）

目的

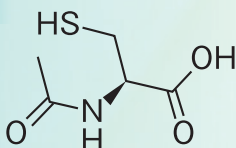
- ストレス耐性の強化
- 発芽率の向上
- 健苗の育成
- 毛細根の発達促進
- 生長の促進
- 花芽形成の促進
- 収穫量の増加
- 品質の向上

カクサンアミノGは

カクサンアミノGは環境ストレス（高温、低温、強光、暗黒、乾燥、過湿、強風、塩など）、生物的ストレス（害虫、病原菌、ウイルスなど）、損傷など種々のストレスによって作られ、生育を阻害する過剰な活性酸素を制御することで、光合成を旺盛にして健全な生育を促進することを主な目的としています。主に根部・葉面に使用します。

アセチルシス테인は

主成分の「**アセチルシス테인**」は医薬品や健康食品に使用される、強力な抗酸化作用を有するアミノ酸です。「**アセチルシス테인**」は、これまで植物に使用されたことがなかった、農業・園芸分野では全く新しい成分で、初めて肥料の配合に成功しました。



ストレス耐性強化の例

強光ストレス耐性の強化

左:対照 右:カクサンアミノG

10:00



13:00



17:00



19:00 灌水後



主成分

アセチル
シス테인高純度
アミノ酸高純度
低分子核酸

食酢

肥料
成分チッソ
1.0%リン酸
0.1%

発芽率調査試験

品種：コマツナ

播種：6月8日

実施：（公財）日本肥糧検定協会

	6月10日	6月11日	6月12日
試験区	83%	100%	100%
対照区	73%	93%	93%



椿産業株式会社

TSUBAKI SANGYO CO. LTD.

■ 使用時期 ■

播種時、育苗期、定植時、収穫期の全てのステージで使用できます。

■ 標準的な使用方法 ■

果菜類の場合

灌水 1000～2000倍希釈（10a 当り 5 kg を 1 か月分として、使用回数に分ける）
混入器では希釈倍率は問いません。

葉面 1000～2000倍に希釈して葉面に散布
（作物に合わせて希釈倍率を調整してください。展着剤を混合すると効果が高まります。）

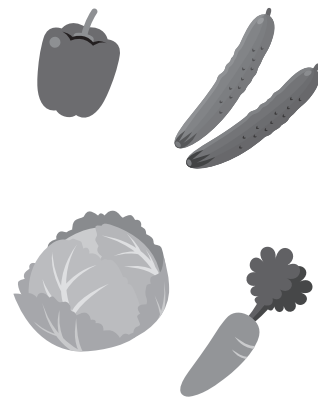
※灌水と葉面散布を両方行うことで、より高い効果が得られます。



葉菜類の場合

灌水 2000～3000倍に希釈して散布
混入器では10a 当り 2～3 kg を 1 か月分として、使用回数に分けて使用

葉面 2000～3000倍に希釈して葉面に散布
（作物に合わせて希釈倍率を調整してください。展着剤を混合すると効果が高まります。）



果樹類の場合

葉面 1000～2000倍に希釈して葉面に散布
（厚肉の葉には1000倍希釈で。展着剤を混合すると効果が高まります。）

播種・育苗

播種前又は後 2000～3000倍に希釈して散布

育苗 1000～3000倍に希釈して株元又は葉面に散布

※使用量は作物の種類や栽培本数、栽培環境等により加減が必要なことがあります。
農薬や肥料など他の資材と混合使用できます。（強アルカリ性資材とは混合不可）



■ 標準的な使用頻度 ■

7～10日毎 ※露地栽培では、雨天が続くときは有効期間が短くなります。

■ 注意事項 ■

- 肥料吸収が旺盛になりますので、肥料切れに注意してください。
- 敏感な作物や生育不良時の使用では、一時的に成長が遅れることがあります但し心配はありません。
- 肥料や農薬など他の資材と混合するときは、事前に少量を溶かして変質しないか確認することをお勧めします。
- 強アルカリ性の資材とは混合不可。
- 原液を軽く振ってから使用してください。
- 希釈液は都度使い切ってください。
- 目に入ったときは水で洗い流してください。
- 飲めません。誤って飲みこんだ時は、出来るだけ多くの水を飲んで医師にご相談ください。
- 肥料以外の用途では使用しないでください。



灌水カクサンアミノ G+葉面散布「アシスト」で相乗効果が得られます
葉面散布＝カクサンアミノ G+「アシスト」



椿 産 業 株 式 有 限 公 司

TSUBAKI SANGYO CO., LTD.

〒373-0054 群馬県太田市長手町183番地

TEL. 0276-25-4556 FAX. 0276-25-2803

<http://www.tsubakiltd.co.jp>

取扱店